

地場産業および伝統的工芸品についてのアンケート結果

滋賀県では、「近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する条例」を平成 28 年 3 月に施行し、地場産業や地場産品を支援する様々な事業を行っています。

つきましては、本県の地場産業および地場産品について、県民の皆さんに現状どの程度知っていただいているのか、浸透しているのかを把握することを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：平成 30 年 8 月

★対象者：県政モニター 397 人

★回答数：285 人（回収率 71.8%）

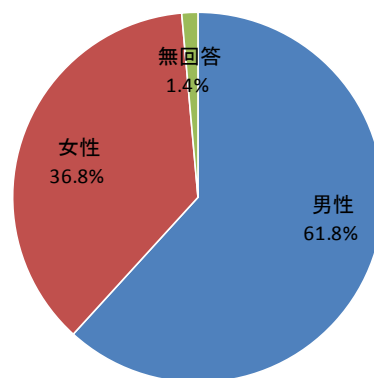
★担当課：モノづくり振興課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

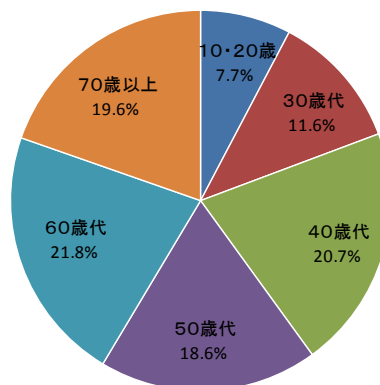
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	176	61.8
女性	105	36.8
無回答	4	1.4
合計	285	100.0



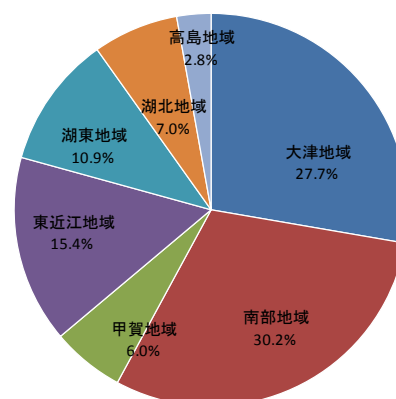
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	22	7.7
30歳代	33	11.6
40歳代	59	20.7
50歳代	53	18.6
60歳代	62	21.8
70歳以上	56	19.6
合計	285	100.0



◆地域

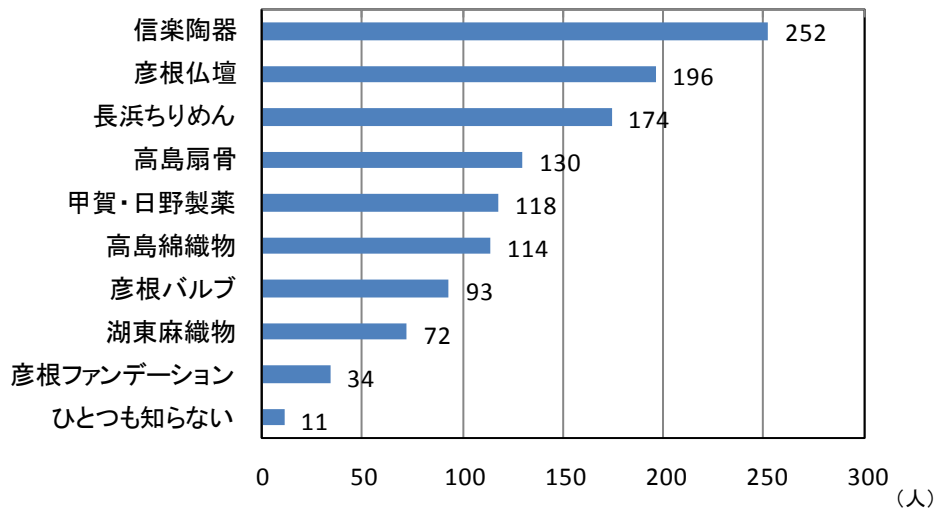
項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	79	27.7
南部地域	86	30.2
甲賀地域	17	6.0
東近江地域	44	15.4
湖東地域	31	10.9
湖北地域	20	7.0
高島地域	8	2.8
合計	285	100.0



☆地場産業について

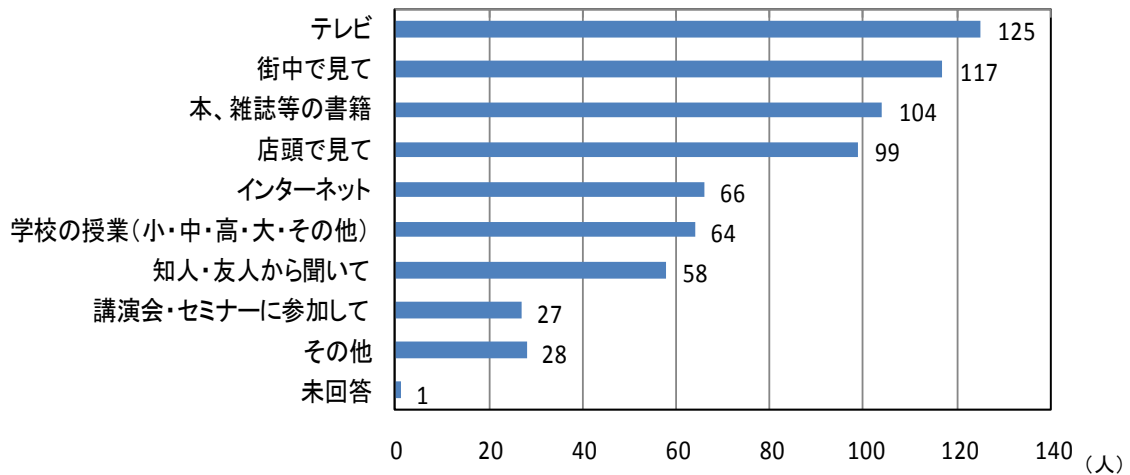
問1 滋賀県には現在、下記9つの地場産業がありますが、地場産業であることを知っていましたか。(回答チェックはいくつでも。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
信楽陶器	252	88.4
彦根仏壇	196	68.8
長浜ちりめん	174	61.1
高島扇骨	130	45.6
甲賀・日野製菓	118	41.4
高島綿織物	114	40.0
彦根バルブ	93	32.6
湖東麻織物	72	25.3
彦根ファンデーション	34	11.9
ひとつも知らない	11	3.9



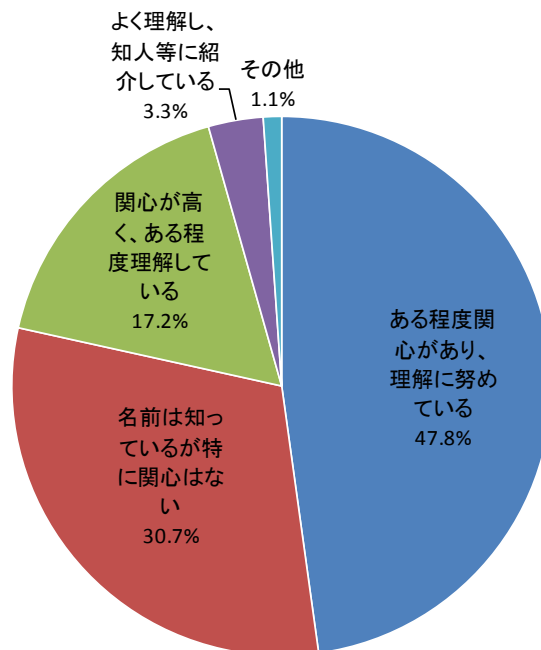
問2 【問1】で「知っている」と回答された方にお尋ねします。地場産業を知ったきっかけは何ですか。(回答チェックはいくつでも。n=274)

項目	人数(人)	割合(%)
テレビ	125	45.6
街中で見て	117	42.7
本、雑誌等の書籍	104	38.0
店頭で見て	99	36.1
インターネット	66	24.1
学校の授業(小・中・高・大・その他)	64	23.4
知人・友人から聞いて	58	21.2
講演会・セミナーに参加して	27	9.9
その他	28	10.2
未回答	1	0.4



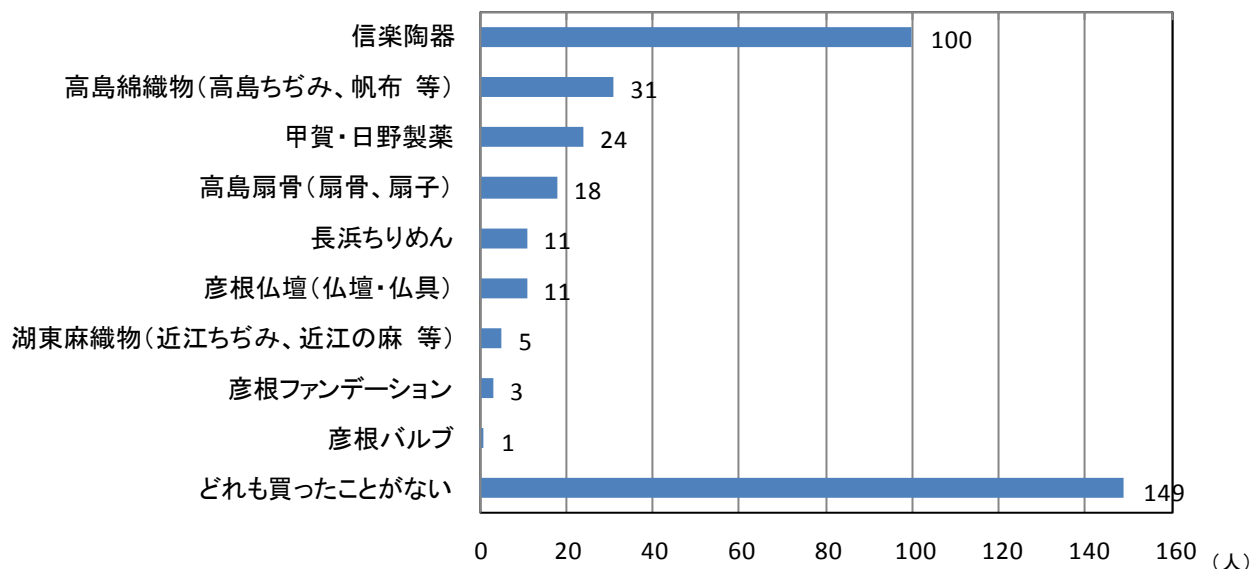
問3 【問1】で「知っている」と回答された方にお尋ねします。地場産業に対する関心、理解はどの程度ですか。(回答チェックは1つだけ。n=274)

項目	人数(人)	割合(%)
ある程度関心があり、理解に努めている	131	47.8
名前は知っているが特に関心はない	84	30.7
関心が高く、ある程度理解している	47	17.2
よく理解し、知人等に紹介している	9	3.3
その他	3	1.1
合計	274	100.0



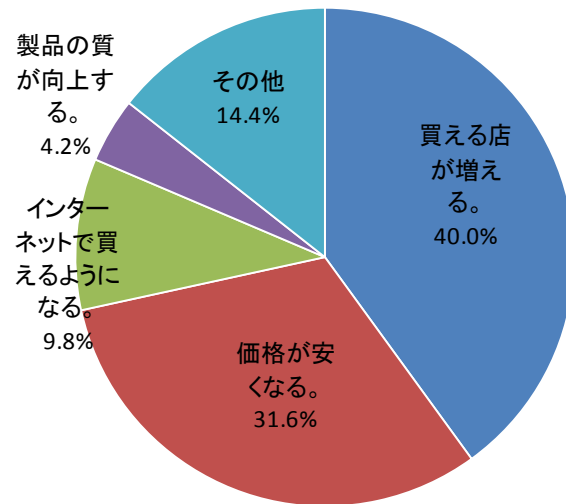
問4 この3年の間(H27.8～H30.8)に地場産業の商品を買いましたか。(回答チェックはいくつでも。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
信楽陶器	100	35.1
高島綿織物(高島ちぢみ、帆布等)	31	10.9
甲賀・日野製菓	24	8.4
高島扇骨(扇骨、扇子)	18	6.3
長浜ちりめん	11	3.9
彦根仏壇(仏壇・仏具)	11	3.9
湖東麻織物(近江ちぢみ、近江の麻等)	5	1.8
彦根ファンデーション	3	1.1
彦根バルブ	1	0.4
どれも買ったことがない	149	52.3



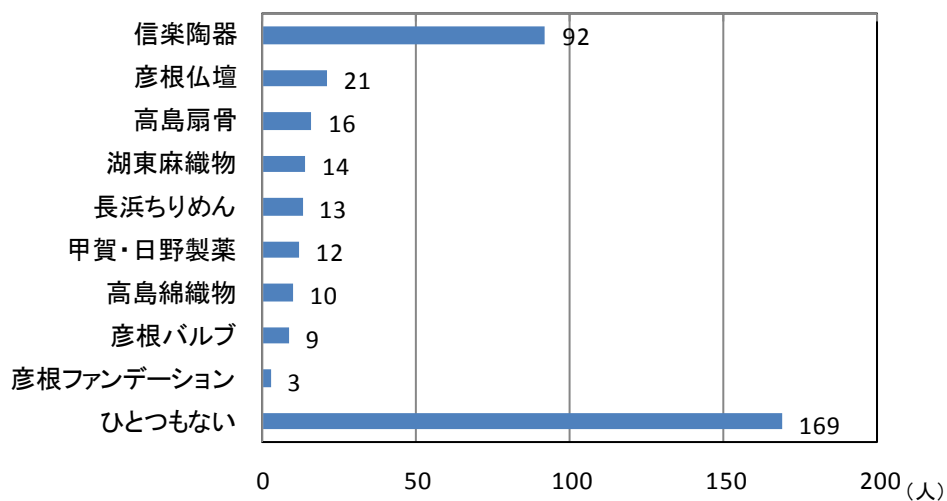
問5 地場産業の商品がどのようになれば買おうと思いますか。一番あてはまるものをお答えください。(回答チェックは1つだけ。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
買える店が増える。	114	40.0
価格が安くなる。	90	31.6
インターネットで買えるようになる。	28	9.8
製品の質が向上する。	12	4.2
その他	41	14.4
合計	285	100.0



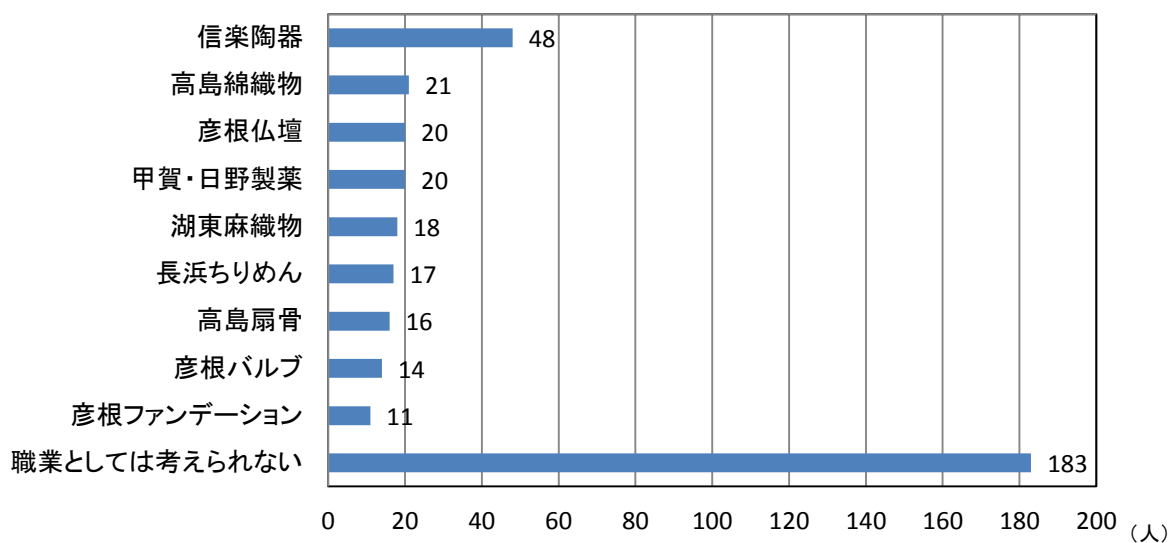
問6 今までに、地場産業の体験会や見学会、催事や展示会、講演会やセミナーに参加されたことがありますか。(回答チェックはいくつでも。n=285)

項目	人数 (人)	割合 (%)
信楽陶器	92	32.3
彦根仏壇	21	7.4
高島扇骨	16	5.6
湖東麻織物	14	4.9
長浜ちりめん	13	4.6
甲賀・日野製菓	12	4.2
高島綿織物	10	3.5
彦根バルブ	9	3.2
彦根ファンデーション	3	1.1
ひとつもない	169	59.3



問7 地場産業の中で、職業として携わってみたいと思うものがありますか。(回答チェックはいくつでも。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
信楽陶器	48	16.8
高島綿織物	21	7.4
彦根仏壇	20	7.0
甲賀・日野製菓	20	7.0
湖東麻織物	18	6.3
長浜ちりめん	17	6.0
高島扇骨	16	5.6
彦根バルブ	14	4.9
彦根ファンデーション	11	3.9
職業としては考えられない	183	64.2



問8 問7の理由をお聞かせください。(職業として携わってみたい理由、もしくは携わりたくない理由)。(抜粋)

○職業として携わってみたい理由

- ・後世に残していかないといけないから。
- ・生活に欠かせない、衣服等に関することで、涼しく感じる商品には、まだ伸びる余地がある。
- ・伝統産業の継続のために関わってみたい希望あり。
- ・経験・能力、関わるための制限はあると思うが、役割や講習など門戸を開放できる部分があるなら、多くが興味をもてるかもしれない。
- ・職業の魅力として将来への発展可能性を考え、変化対応力のありそうな産業として選択しました。バルブ、繊維製品の新製品開発力、薬品の研究開発力、陶芸の技術力が選択理由です。
- ・彦根ファンデーションの中で、特に、スポーツウエア産業に携わってみたい。オリンピックなどで採用されると世界的に認知され、やりがいを感じられるから。
- ・自分でデザインしたものが形になってゆくのがいい。
- ・木漆工芸を生業にしているので彦根仏壇の技術を取り入れた製品を新たに作ってみたい。また信楽焼では陶器の特性を生かした木工製品との融合作品が出来ると面白い。
- ・仏壇の繊細な彫り物、つくりには興味をそそられます。
- ・高島の綿織物を近所の量販店で見かけた際、手触りや着心地が良さそうで、実際に作られている所をじっくり見てみたいと思ったから。
- ・現在居住している地元の伝統産業であり、微力ながらも関わる事ができればと思います。

○職業として携わりたくない理由

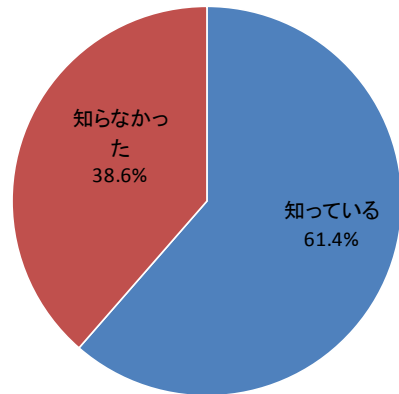
- ・「ここ滋賀」があるにしても、それでも出来上がった製品を販売するチャネルが不十分で、それだけで食っていくことができないから。
- ・将来性が不透明。身近でないように感じる物がほとんどで、それに付随した工程や仕事が想像できない。
- ・地元でもあまり見かけないので職業として生活が成り立つか不安があるため。
- ・年齢的にも職業としては考えにくいですが、趣味或いは応援としての範囲であれば関われるかも知れない。
- ・専門的な知識と技術が必要だと思うので。
- ・労働環境があまり良いとは思われない。
- ・内容がよくわからないので、職業として考えられない。しかしそれぞれの産業の理解が深まれば、地場産業の振興、PR、販売などで、携わってみたいと思う。
- ・高級品で、購入するにも仕事とするにも敷居が高いイメージがあるから。
- ・そもそも地場産業という言葉を知らず、拝見したところ芸術的または伝統的な背景があって、素人ではとっつきにくいイメージを持ちました。職業としては考えられないです。

☆伝統的工芸品について

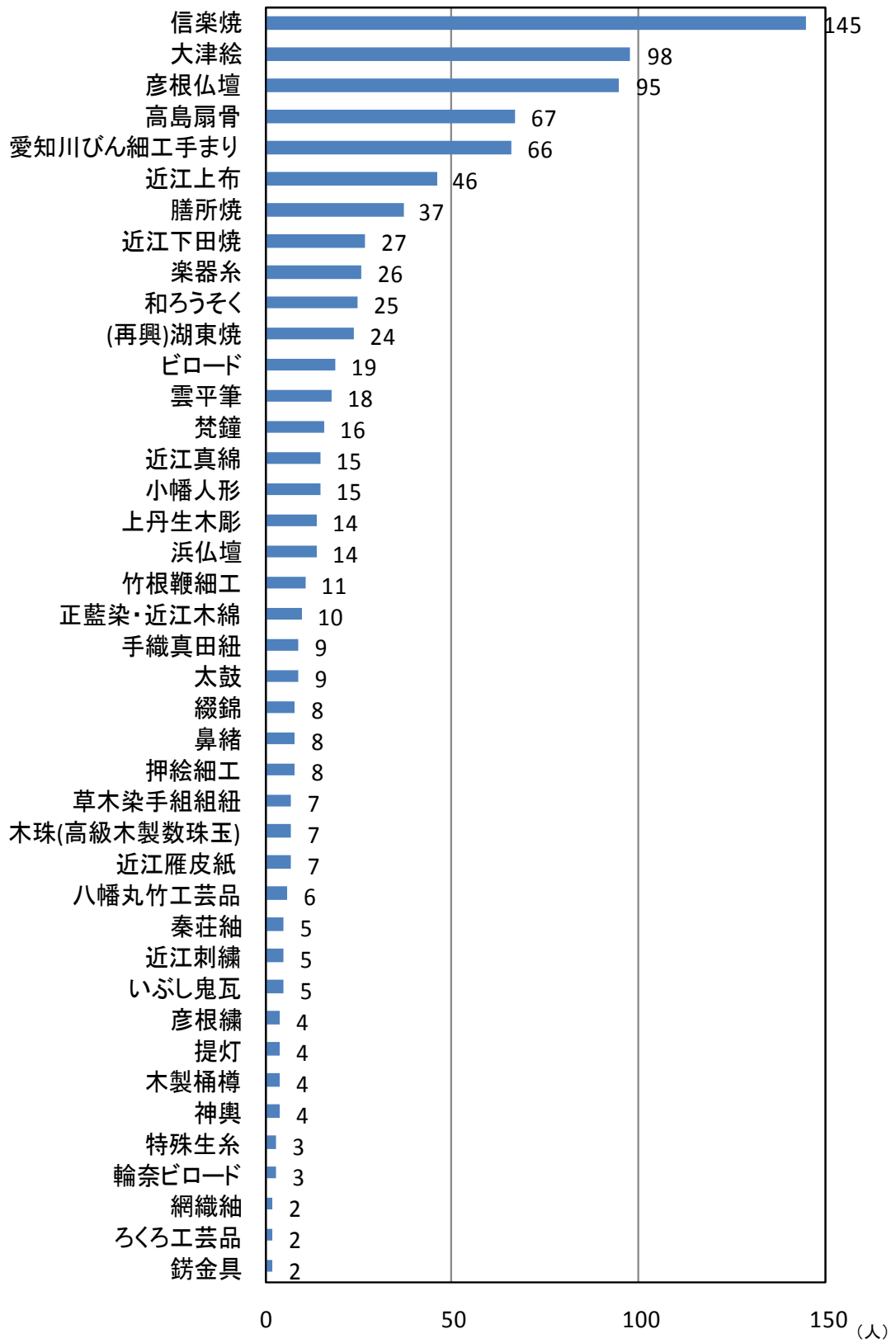
問9 滋賀県には現在41品目の伝統的工芸品がありますが、知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=285)

「知っている」と回答いただいた方は、下記のURLにアクセスしていただき、「伝統的工芸品一覧表」から知っているものの番号を記載して下さい。(複数回答)

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	175	61.4
知らなかった	110	38.6
合計	285	100.0

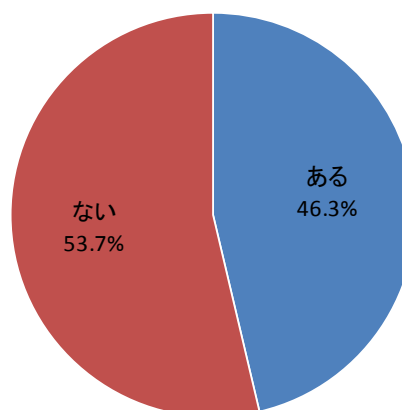


項目	人数(人)	割合(%)	項目	人数(人)	割合(%)
信楽焼	145	82.9	太鼓	9	5.1
大津絵	98	56.0	綴錦	8	4.6
彦根仏壇	95	54.3	鼻緒	8	4.6
高島扇骨	67	38.3	押絵細工	8	4.6
愛知川びん細工手まり	66	37.7	草木染手組組紐	7	4.0
近江上布	46	26.3	木珠(高級木製数珠玉)	7	4.0
膳所焼	37	21.1	近江雁皮紙	7	4.0
近江下田焼	27	15.4	八幡丸竹工芸品	6	3.4
楽器糸	26	14.9	秦荘紬	5	2.9
和ろうそく	25	14.3	近江刺繍	5	2.9
(再興)湖東焼	24	13.7	いぶし鬼瓦	5	2.9
ビロード	19	10.9	彦根繻	4	2.3
雲平筆	18	10.3	提灯	4	2.3
梵鐘	16	9.1	木製桶樽	4	2.3
近江真綿	15	8.6	神輿	4	2.3
小幡人形	15	8.6	特殊生糸	3	1.7
上丹生木彫	14	8.0	輪奈ビロード	3	1.7
浜仏壇	14	8.0	網織紬	2	1.1
竹根鞭細工	11	6.3	ろくろ工芸品	2	1.1
正藍染・近江木綿	10	5.7	鋳金具	2	1.1
手織真田紐	9	5.1			



問10 今までに県内の伝統的工芸品を購入したことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	132	46.3
ない	153	53.7
合計	285	100.0



問11 問10で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。

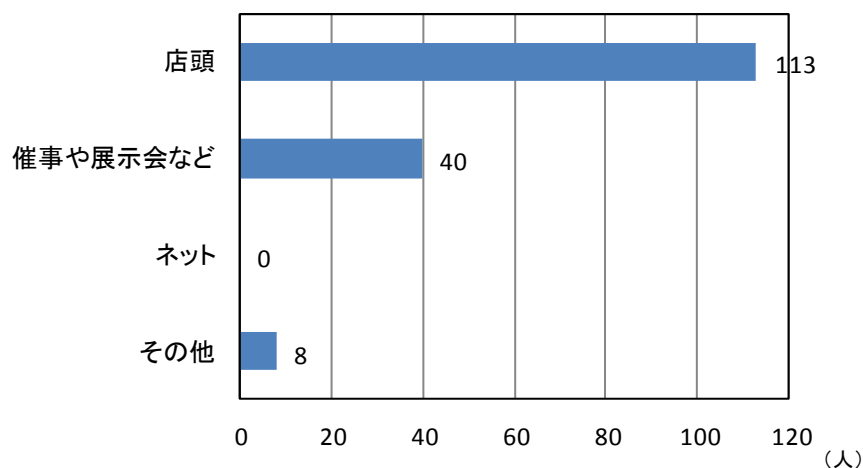
どの伝統的工芸品を購入されましたか。問9と同様に下記URLを参考に番号で記載下さい。(複数回答。 n=132)

項目	人数(人)	割合(%)	項目	人数(人)	割合(%)
信楽焼	104	78.8	上丹生木彫	1	0.8
大津絵	23	17.4	太鼓	1	0.8
高島扇骨	18	13.6	梵鐘	1	0.8
彦根仏壇	13	9.8	小幡人形	1	0.8
雲平筆	6	4.5	いぶし鬼瓦	1	0.8
和ろうそく	6	4.5	網織紬	0	0.0
愛知川びん細工手まり	6	4.5	綴錦	0	0.0
膳所焼	4	3.0	近江刺繍	0	0.0
近江下田焼	4	3.0	彦根繻	0	0.0
近江上布	3	2.3	楽器糸	0	0.0
ビロード	2	1.5	鼻緒	0	0.0
手織真田紐	2	1.5	特殊生糸	0	0.0
近江真綿	2	1.5	輪奈ビロード	0	0.0
浜仏壇	2	1.5	(再興)湖東焼	0	0.0
近江雁皮紙	2	1.5	提灯	0	0.0
神輿	2	1.5	ろくろ工芸品	0	0.0
秦荘紬	1	0.8	竹根鞭細工	0	0.0
正藍染・近江木綿	1	0.8	八幡丸竹工芸品	0	0.0
草木染手組組紐	1	0.8	木珠(高級木製数珠玉)	0	0.0
押絵細工	1	0.8	鋳金具	0	0.0
木製桶樽	1	0.8			



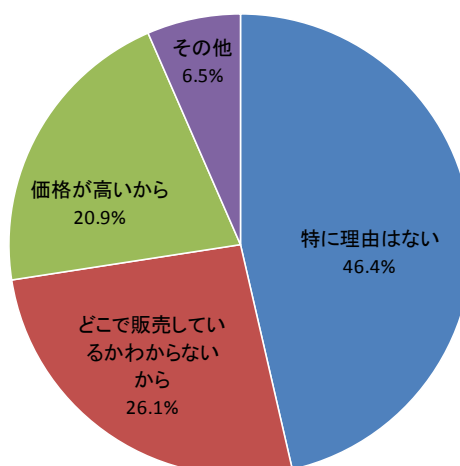
問12 問10で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。どこで購入されましたか。（回答チェックはいくつでも。 n=132）

項目	人数(人)	割合(%)
店頭	113	85.6
催事や展示会など	40	30.3
ネット	0	0
その他	8	6.1



問13 問10で「ない」とお答えになった方にお尋ねします。購入したことがない理由で一番あてはまるものを教えてください。（回答チェックは1つだけ。n=153）

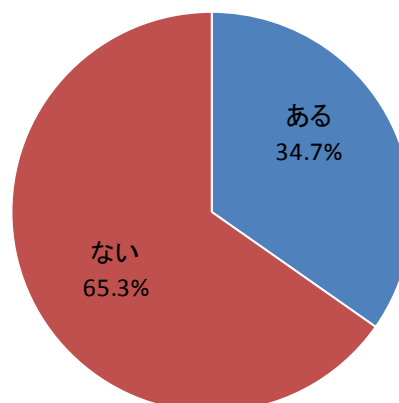
項目	人数(人)	割合(%)
特に理由はない	71	46.4
どこで販売しているかわからないから	40	26.1
価格が高いから	32	20.9
その他	10	6.5
合計	153	100.0



問14 今までに県内で開催された工芸品展を見に行ったことはありますか。

(回答チェックは1つだけ。n=285)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	99	34.7
ない	186	65.3
合計	285	100.0



問15 その他、地場産業および伝統的工芸品に関して御意見等がございましたらお聞かせください。(抜粋)

- 工芸品を見て回るツアーなどがあつたら興味を持つ人が増えると思う。
- 東京にある滋賀の文化を発信する「ここ滋賀」のような拠点を県内にも作って欲しい。
- 同じ県内とはいえ地元の工芸品ではないのであまり馴染みがありません。もう少し親しみを持てるように販売する店舗を増やしたら良いのと思います。
- 私自身も含めて県内の地場産業や伝統工芸品をまだまだ知らないなので触れる機会を増やしてほしい
- 日常生活の中で、あまり目にする機会がないように思う。もっとそのものの品質や良さをアピールし、地元の人たちが手頃な値段で購入できるようになればいいと思う。
- テレビなどでもっと情報発信すべきだ。良さがよくわからない。
- 気軽に目にする場所が増えれば良いと思います。市役所や支所、可能ならば銀行などに少し置いてみるとか、市民が用事で立ち寄る場所にあれば市民の目に止まると思います。
- ある商品を目的に行くのではなく、その地域に行った時のついでに工芸品を見て良いなと思いつながり買います。これからも県内での「工芸展」を開いてください、見に行きます。
- 地域活性化には必要なコンテンツなので体験型観光でそこでしか経験できないものとしてアピールできないか。
- 県外の人から知識として持てる場、機会があると、アピールとして良いのではないかと。県内各所に(特に県外から)観光目的で来る人に紹介して発展に繋げて欲しい。
- 工芸品をもっと近代的な生活用品としてアレンジしたものが欲しいと思います。
- 必要性に応じて淘汰されるのは仕方ないことだが付加価値を見出すか、必要とされる“場所”を開拓していくかでニーズは生まれると思う。

- 展示会などの案内をもっと大きく取り上げてほしい。
- それぞれの規模が小さく、あまり広く知られていないイメージです。技術の伝承と産業の発展のために、行政も協力して定期的なイベントを行うことができればと思います。
- 伝統工芸品を伝承するだけでなく、若者の感性を取り入れて、現代にマッチ出来る物を開発する事が重要。
- 地場産業および伝統的工芸品に関して、あまり普段意識するきっかけがありませんでした。それらの重要性についても考えたこともありません。滋賀県にはそれらの地場産業、伝統工芸品があるのなら、継承者づくりも考えないといけなく、滋賀の大人だけでなく、子供たちにも知る機会が欲しいと思います。
- 若い人が手に取るような商品がない。生地とかは良さそうなので、もう少し形やデザインにこだわってもいいと思います。
- 若手の伝統工芸職人に経済的支援をすべき。作品を買い取ってあげて、美術館で展示するなどの政策はどうか
- こんなに多くの伝統的工芸品があると知らなかったので知りたいと思いました。県民でも知らない人が多いと思うので知名度を上げる取り組みが必要だと感じました。